

II

策定の趣旨

1 平塚市民病院を取り巻く環境

- (1) 「新公立病院改革ガイドライン」について
- (2) 「平塚市民病院あり方懇話会」について
- (3) 「次期平塚市民病院将来構想検討会議」について

Ⅱ 策定の趣旨

1 平塚市民病院を取り巻く環境

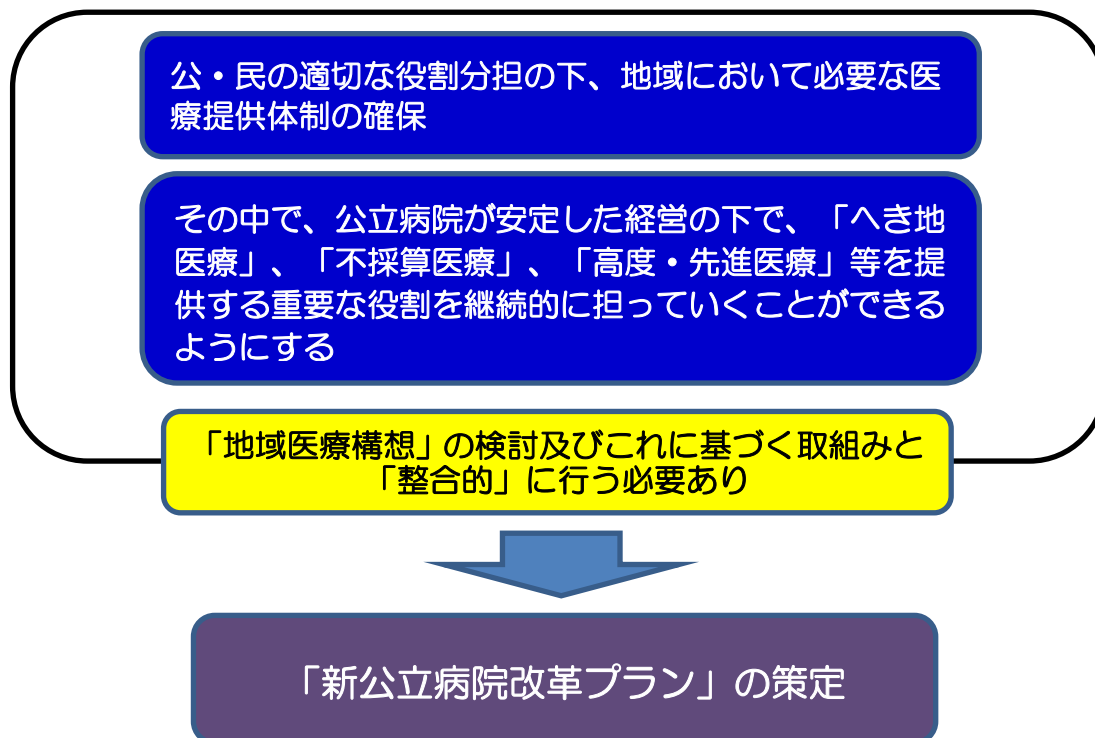
(1) 「新公立病院改革ガイドライン」について

「新公立病院改革ガイドライン」は、平成19年（2007年）12月24日付けで策定された「公立病院改革ガイドライン（以下「前ガイドライン」という。）」による取組みを行ったものの、依然として、医師不足等の厳しい環境が続き、持続可能な経営を確保しきれない病院が多いこと、また、人口減少や少子高齢化が急速に進展する中で、医療需要が大きく変化することが見込まれており、令和7年（2025年）の将来像を見据え、地域ごとに適切な医療提供体制の再構築に取り組んでいくことがますます必要になることから、前ガイドラインを踏まえ、経営効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直しの視点に立った改革を継続するとともに、「地域医療構想」やそれに基づく取組みを統合的に行うことで、地域における良質な医療を確保していくことを目的に、平成27年（2015年）3月31日付けで総務省自治財政局により策定されたものです。

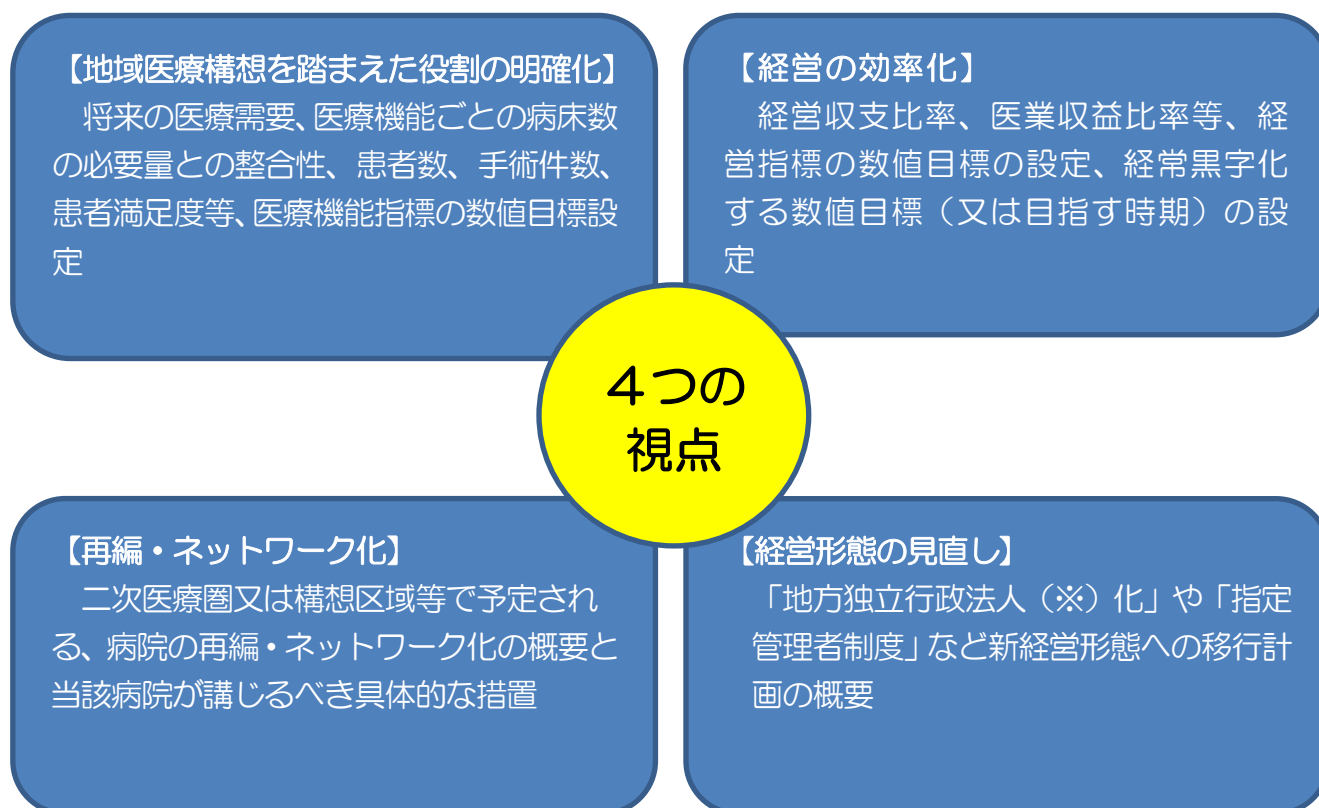
この「新公立病院改革ガイドライン」の中で、病院事業を設置する地方公共団体は、「新公立病院改革プラン」を平成28年（2016年）度までに策定するよう求められており、平塚市では、この将来構想に「新公立病院改革プラン」を含んで策定しました。

「新公立病院改革ガイドライン」で示された「新公立病院改革プラン」の計画期間は令和2年（2020年）度までであるものの、整合を図るべき「神奈川県地域医療構想」の対象期間が令和7年（2025年）までであり、今後の公立病院改革の推進においても、「新公立病院改革ガイドライン」で示された「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」、「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」の4つの視点が基本となることから、この将来構想は引き続き4つの視点を踏まえ策定します。

【新公立病院改革ガイドラインの基本的な考え方】



【新公立病院改革ガイドラインに基づく新公立病院改革プラン策定「4つの視点」】



(2)「平塚市民病院あり方懇話会」について

ア 懇話会の位置付け

「平塚市民病院あり方懇話会」は、平成20年（2008年）11月に策定した「平塚市民病院将来構想」が平成28年（2016年）度で終了することに伴い、新公立病院改革ガイドラインや地域医療構想のほか、「2025年問題（※）」や現状の医療制度、地域特性及び経営状況を踏まえた次期将来構想（新公立病院改革プラン）を策定するに当たり、今後（平成28年（2016年）度から令和7年（2025年）度までの10年間）の平塚市民病院のあり方について、幅広い意見を求めるために設置しました。

イ 検討内容

【テーマ】

「平塚市民病院の将来像について」

～「新公立病院改革プラン（平成29年度）」から「2025年問題（平成37年度）」まで～

【テーマに基づく議論の観点】

- （1）地域医療マーケット（地域における医療の需要）の観点から
- （2）経営上の観点から

【各参加者からの意見】

- （1）市の政策的側面から
- （2）医療の機能分化への対応
- （3）依存体質からの脱却
- （4）高度な経営機能の必要性
- （5）その他

【今後の平塚市民病院のあり方（方向性）】

《今後の平塚市民病院の方針（ビジョン）》

ア 将来の社会保障制度や平塚市周辺地域の医療需要を研究・検証し、自立的・持続的な健全経営の下、市民の皆さんのニーズに応える医療を実践する。

イ 市民の皆さんの期待に応える公立病院としての立場から、また、高度急性期（※）医療を持続的に担ってきた経緯を踏まえ、高度急性期（救命救急を含む）と政策医療である、小児・周産期医療（※）等を継続的に高度に両立して担うことができるユニークな病院とする。

《方針（ビジョン）を実現するための前提条件》

ア 救急、小児・周産期等の不採算になりやすい医療を安定的に維持・継続するために、地域医療のバランスや採算性を踏まえ、担うべき診療科を見直す。また、そうした意思決定の下、医療提供を維持するため、必要な情報を提供できる高度な経営管理体制を迅速に整える。

イ 経営の安定化を図るため、救急や紹介等を通じた新規入院患者を継続的に確保し、病床利用率を向上させるとともに、単価の改善も両立させる。

ウ 政策医療による、不採算医療の更なる推進については、公的資金援助を依頼する。ただし、

政策医療分野においても、効率的・効果的な医療提供体制への改善に継続的に取り組む。

エ 地域から信頼されるために、公開講座や地域の医療機関とのカンファレンス、勉強会などを通じ、医師、看護師、医療技術職、事務職が職種を越えて連携し、積極的に院外へ向け活動を展開し、市民病院の情報を発信するとともに、市民の皆さんや地域のニーズをしっかりと受けとめることができる組織風土作りを進める。

(3)「次期平塚市民病院将来構想検討会議」について

「次期平塚市民病院将来構想検討会議」は、「平塚市民病院将来構想（平成20年（2008年）11月策定）」が平成28年（2016年）度で終了することを受け、「新公立病院改革ガイドライン」及び「平塚市民病院あり方懇話会」で議論された内容を踏まえた、新たな平塚市民病院の将来構想策定について広く市民等の意見を求めるために設置しました。

- ★「次期平塚市民病院将来構想検討会議」の開催日程、検討内容及び検討会議構成員については、別添資料を参照してください。
- ★「次期平塚市民病院将来構想検討会議」の会議録については、平塚市民病院ホームページで公開しています。

